

## ＜日商簿記1級商業簿記ミニテスト22＞連結会計2

連結包括利益計算書を作成しなさい。またその他の包括利益の注記を税効果(税率40%)と併せて示しなさい。なお甲社株式は期中に3,000円で売却している。

銘柄	取得原価	前期末時価	当期減少	当期末時価
甲社	2,000	2,600	2,600	
乙社	20,000	22,400	—	24,000

両銘柄ともその他有価証券で処理している

評価差額の処理は全部純資産直入法で処理している

### 連結包括利益計算書

当期純利益 (10,000)

その他の包括利益

    その他有価証券評価差額金 ( 600)

包括利益 (10,600)

(注記)

その他有価証券評価差額金

    当期発生額 ( 2,000 )

    組替調整額 ( △1,000 )

    税効果調整前 ( 1,000 )

    税効果額 ( △ 400 )

    その他の包括利益合計 ( 600 )

## ★包括利益計算書

考え方のキモ

「利益はフロー」これを強く意識しましょう

注記

当期発生額は時価変動分（売却時の時価も含む）

組換調整額（利益の2度使い<リサイクル>をマイナス）

① 包括利益の考え方

定義：純資産の変動額（持分所有者との直接的な取引によらない部分）

計算：当期純利益＋OCI（これがわかりにくい）

その他の包括利益とは包括利益のうち当期純利益に含まれない部分をいう

<その他有価証券評価差額金で考えよう>

	100	→	120	→	130	
フロー		+20		+10		・・フローがその他の包括利益
ストック		+20		+30		・ストックがその他の包括利益累計額

※減価償却費（フロー）と減価償却累計額（ストック）のイメージで押さえれば良い

<では上の例でPLとCIを考えよう>

1期目

利益 0

OCI 20

CI 20

2期目

利益 0

OCI 10

CI 10

問題ありません

では、2期目に130で売却した場合を考えてみよう

1期目

利益 0

OCI 20

CI 20

2期目

利益 30

OCI 10

CI 40

計算の定義通りいくと2期合計のCIは60

これはおかしい。100 円で購入した有価証券が 130 で売却できれば 30 円の利益のはず

じゃあ、2 期の純利益を 0 にすればいいのか？それはない。概念 F W も純利益は大事と  
いっている。ならば、その他の包括利益をいじろう。

2 期目の CI は 10 でなければならない

という事は OCI は逆算で  $\Delta 20$  にすべき。ここがわかりにくい

OCI を発生と組替調整額（リサイクリング部分）にわせる

